深沢まちづくり協議会ニュース

発　行：深沢まちづくり協議会
事務局：鎌倉市都市政策課

創刊号
平成 15 年 11 月発行

Topics

- 鎌倉市では、平成８年度に策定した『深沢地域の新しいまちづくりの基本計画（案）』を「基本計画」に高めていくための取り組みを始めました。
- この取り組みは、『深沢地域の新しいまちづくりの基本計画（案）』の策定から６年半が経過し、市が取得した旧国鉄清算事業団用地を早期に活用することが望まれていること、また、社会の経済状況が変化したことなどを背景に、実現性の高い計画にしていくことを目的としています。

［深沢地域］

- 市民、商業者、企業、公共的団体、さらに学識経験者の方々からなる「深沢まちづくり協議会」を発足し、「深沢地域の新しいまちづくりの基本計画」の策定（平成 15 年３月を目標）に向け、取り組んでいきます。

第１回　まちづくり協議会が開催されました！！

主な内容

第１回目の協議会では、以下の点について確認、意見交換を行いました。

詳細は、次のページ以降をご覧下さい。

- 日：平成 15 年 10 月 24 日（金）
- 時：午後４時から６時
- 場所：市役所２階　全員協議会室
- 出席者：委員　19 名

- 協議会委員の委嘱
- 協議会会長、副会長の選出
- 協議会の運営について
- 基本計画（案）のレビュー
- 今後のすすめ方

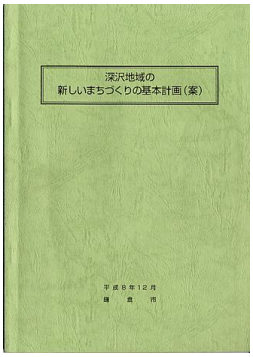
会議の様子

深沢地域の新しいまちづくりとは・・

★ 昭和 62 年の国鉄改革に伴って誕生した“旧国鉄清算事業団用地（約 8.1ha）”（旧 JR 大船工場周辺）の土地を活用した、深沢地域のまちづくりのことです。

★ 鎌倉市の総合計画に位置付けられ、これまでまちづくりについて取り組みが行われてきました。

★ 市では、市民、商業者、企業、公共的団体、学識経験者等の方々によりまとめられた「提言」（平成６年）や「素案」（平成８年）を基に検討を加え、平成８年に『深沢地域の新しいまちづくりの基本計画（案）』（以下、基本計画（案）という。）を策定しました。



▲ 深沢地域の新しいまちづくりの基本計画（案）

詳細は、都市政策課までお問い合わせ下さい。計画内容は市のホームページにも掲載されています。

協議会委員の紹介

協議会の委員の方々を紹介します。
なお、委員の互選により、会長には日端委員、副会長には石井委員が選ばれました。

会　長	日端　康雄	学識経験者（慶応義塾大学大学院教授）
副会長	石井　良一	梶原町内会会長
以下 50 音順		
	青木　政行	鎌倉商工会議所サービス業務部幹事
	秋元　昭八	上町屋町内会会長（深沢地区連合町内会会長）
	石井　美紀	鎌倉青年会議所理事
	石井　　満	深沢中央商店会相談役
	猪股　満智子	公募市民
	小川　俊法	三菱電機㈱鎌倉製作所総務部長
	川口　和英	学識経験者（鎌倉女子大学家政学部助教授）
	木田　光夫	西寺分自治会副会長
	児玉　　慧	JR 連合町内会会長
	鈴木　國雄	深沢地区連合町内会副会長（打越町内会会長）
	清田　育男	公募市民
	徳増　明美	公募市民
	徳増　正男	笛田町内会会長
	徳増　元治	公募市民
	中田　圭一	寺分町内会会長
	平野　継彦	湘南モノレール株式会社　取締役社長
	福澤　健次	公募市民
	安田　　昇	梶原共栄会会長
	和田　武廣	公募市民

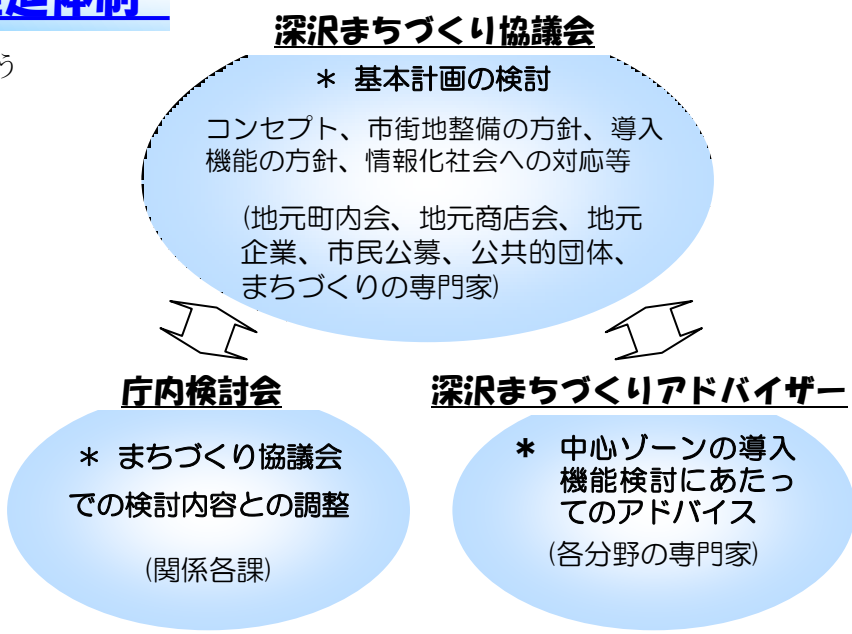
協議会の運営ルール

協議会の運営にあたり、４つのルールを確認しました。

1．開催は原則として、平日の昼間の時間帯とする。
2．委員の代理出席は原則可能であるが、学識経験者、公募委員の代理出席は不可とする。
3．協議会の傍聴、及び傍聴者の資料の持ち帰りは、その都度、協議会に諮り決定する。
4．協議会の議事録における委員名は公開する。

基本計画策定に向けての推進体制

『基本計画』の策定に向けて、右のような推進体制で取り組んでいきます。



協議会での主な意見

第１回目の協議会で出された主な意見をご紹介します。

主な意見

＊ JR 大船工場も平成 17 年度には撤退するという噂も聞いている。このようなことも踏まえ、踏み込んだ検討が、この協議会でできれば良いと考えている。

＊ 協議会の目的は、基本計画(案)を基本計画に高めることなので、より実現性を高めるためにも、段階的なまちづくりを進める事も重要ではないか。

＊ JR 大船工場、JR 社宅は、財政が許すならば、形状的にも全部買収することが望ましいのではないか。

＊ 全体の考え方も必要だが、幹線道路の整備も必要ではないか。

＊ 基本計画(案)の策定の時は、道路、沿道利用、導入機能や、また、実際にできるか否かの議論は不足していたと感じている。

＊ サスティナブル、つまり持続可能な魅力あるテーマ、成長可能な計画を考えていくことが必要ではないかと思う。

＊ 深沢地域は、職・住・遊が融合する場所になる可能性があるのではないか。

＊ 深沢地区をどのようにしていくのか、ということを考えることが重要ではないか。

＊ 基本計画（案）の目標の 8 項目の中で、深沢の住民として何を選択するのか、という議論が必要ではないか。

＊ 深沢地区の用地は、鎌倉市を発展させる種地である。

＊ 協議会の開催場所は、傍聴やアンケートを行うことなどを考慮し、地元で開催するのも良いのではないか。

＊ 予定されているアンケートは「実現」を踏まえて行うことが必要ではないか。

計画策定までの流れ

平成15年

第１回（10月）　○協議会委員の委嘱
○協議会会長、副会長の選出
○協議会の運営について
○基本計画（案）のレビュー
○今後の進め方

第２回（11月）　○基本計画（案）の検証
○まちづくりコンセプトの検討

第３回（12月）　○市街地整備の方針の検討
- 土地利用の整備方針
- 交通の整備方針
- 緑と水、景観の整備方針

アンケート調査の実施
※市民の方々（無作為抽出）を対象に実施予定。

平成16年

第４回（ １月）　○導入機能の整備方針
- 導入機能の方針
- 中心ゾーンの方針

○情報化社会への対応

第５回（ ２月）　○基本計画［検証案］のまとめ

まちづくりの集い（２月）
※市民の方々を対象に開催予定。

第６回（ ３月）　○基本計画［検証案］の確定

深沢地域の新しいまちづくりの基本計画

※庁内検討会や関係機関協議は、
協議会の進行とあわせ随時行っていきます。

※網掛け部分は今回検討したところです。

【第３回 協議会の開催予定】
日時：平成15年12月25日（木）14：00～
場所：深沢学習センター　第２集会室

傍聴（先着５名）を希望される方は、
右の問い合わせ先までご連絡下さい。

計画についての問い合わせ先：深沢まちづくり協議会事務局
鎌倉市　企画部　都市政策課
〒248-8686　鎌倉市御成町18番10号
TEL：0467-23-3000（内線2566）　FAX：0467-23-8700
E-mail：kyoten@city.kamakura.kanagawa.jp
http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/index.htm